



歓迎演奏 /
和知太鼓保存会

友情出演 /
凜 (和太鼓)

宴人 /
響 道宴 (和太鼓)
山中信人 (津軽三味線)



宴人 *ento* 音届けLIVE2024 和知すぺしゃる篇

和楽器の響きと春の讃歌

お代は投げ銭制

4月14日(日) 開場 / 13:30 開演 / 14:00

会場: 伝統芸能常設館 (道の駅 和 道路情報センター)

京都府船井郡京丹波町坂原上モジリ11



森の京都

企画: リズミックキープ / 和太鼓凜
協力: 和知太鼓保存会 / 道の駅 和
後援: 森の京都DMO

和太鼓奏者
響 道宴
(ひびき・とうえん)

演出家・松永良男太に師事し、舞台人としての基礎を学ぶ。太鼓集団「鼓童」のメンバーとして、海外・国内公演・CDに参加。鼓童退座後、ソリストとして、演奏・作曲・邦楽監修など活動を展開。その場、その時を感じながら「人」や「自然」との繋がりを表現する即興を得意とし、「個」として太鼓と正面から向き合い、独創的な世界観を確立。空間や行間を楽しむ「間」の文化、見えないところにも気を配る「粋」の文化、見えないものを感じ取る「感性」の日本の文化の伝承を目指している。サッカーフランスW杯、中南米や中東への外交・文化事業公演、舞台作品・自然や聖域への奉納など世界の様々な場所とプロジェクトで演奏活動中。近年では、伝統芸能と和楽器・洋楽器などを織り交ぜた舞台作品創りに参加している。また、和太鼓奏者のほか、太鼓をモチーフにしたアート作品の創作、纏師、ラジオパーソナリティなど、さまざまな活動を展開している。

響 道宴web site→
<https://www.r-cib.com/>



和知太鼓

京丹波町指定文化財。
平安時代中期、源頼光が大江山の酒吞童子という鬼の討伐に、向かった際、藤森神社(旧和知町広野)で雨宿りをしました。出陣のとき、村人たちが武運長久を祈願して打ち鳴らした奉納太鼓がはじまりと伝えられています。

2年ぶりに！
世界中で活躍中の
響道宴氏、山中信人氏をお迎えし、
京丹波町在住の和太鼓凜さんの企画により、
和知にてコンサートをしていただけることになりました✦
和知太鼓も歓迎の太鼓を打ちます。
皆さま、4月14日は、
ぜひ、道の駅和で
お待ちしております！



津軽三味線奏者
山中信人
(やまなか・のぶと)

中学校卒業後15歳で単身青森県弘前市に渡り、津軽三味線奏者「山田千里(やまだちさと)」の内弟子として4年間修業。津軽三味線山田千里流師範となる。毎年青森県弘前市でおこなわれる津軽三味線世界大会では最上級A級3連覇を達成し殿堂入り。また津軽民謡の伝統的な唄付けの技術を競い合う「唄付け伴奏部門」で3回の優勝を獲得。海外計38の国と地域で演奏。約16年にわたり「南中ソーラン」など現代風アレンジした民謡を演奏する伊藤多喜雄&タキオバンドのメンバーとして活動。「平成29年度埼玉グローバル賞」を受賞。「平成30年度北本市文化奨励賞」を受賞。教育芸術社音楽授業支援DVD「小学生の音楽4」に津軽三味線演奏を収録。現在はソロ奏者として演奏会、学校公演、講演会などで活動中。洗足学園音楽大学非常勤講師。加須市観光大使。北本市観光大使。鴻巣市観光大使。三芳町ふるさと大使。埼玉親善大使。

山中信人web site→
<http://nobu483-1000.sakura.ne.jp/>



人が集う中、音楽が生まれ、
また、音楽ある中、人が集い、宴となる。
音楽を縁とし、人と宴する！
熱い魂による響き合う音楽をお楽しみ
下さい。

凜(和太鼓、篠笛)

三重県鈴鹿市出身。京丹波町在住。
鈴鹿市ときめきカルチャー大使
鈴鹿市文化事業団 評議員
2003年名古屋にて和太鼓プロチームをメンバーと共に創設し、中心メンバーとして全国各地にて演奏。
2010年より、ソロ活動を展開。
日本にとどまらず、インド、韓国、アメリカ、タヒチ、オランダ、ベルギーなど海外でも演奏活動を広げている。
同年11月輝く女性「SAVE WOMAN」として、ちふれ化粧品CM等に出演。
2015年 第14回三重県文化賞新人賞受賞。
1stアルバム『凜』をリリース。
場所やジャンルを問わない演奏には定評があり、ライブ・イベントでの演奏をはじめ、ミュージカル・リサイタルゲスト出演、マリンバ・三味線・ヴァイオリン・殺陣・書道・オーケストラ・吹奏楽・ジャンベやパーカッションとのセッション、ダンス・バレエとのコラボレーションなど舞台音楽多岐にわたって活動を展開。
演奏活動以外では、演奏指導、楽曲提供等を行っている。

